

米
シヤートル市國幼稚園保育趣旨及び細目(千九百十五年制定)

東洋幼稚園長 岸 邊 福 雄

これは、私が彼の地の幼稚園から請ひ受けて持ち歸つたのであります。

私が、昨年の夏、文部省の保姆講習會にて講演いたしました米國幼稚園保育細目と對照して御覽下さいましたら、更に興味のあります事と信じます。

因に、右米國幼稚園保育細目は、殘本が今尙少々ありますから、御希望の方には、郵券貳拾錢送附下さいましたら分配いたします。

○幼稚園の二部教授

午前の組の保育時間は、九時より一時十五分。

午後の組の保育時間は、一時より三時十五分までにて、一組の幼兒數は二十五名。尤も最年長の組

即ち小學校に往く前一年の幼兒は、五十名までは差し支へない。

○スーザン、ブロー氏の說

幼稚園は、普通教育の課程の一つの形式であつて、其形式は、特に教育の定義によつて研究されるものである。

自發活動は、當今普通に是認せられたる教育の基本定則である。幼兒の第一の活動は、生得の衝動心によるとして知られて居る。幼兒は何等の目的があつて活動するのでは無く、只だ無意識に活動するのである。

併し此無意識時代は、幼兒發達の出發點であつて、兒童教育中最も意義ある大切なる時代である。

兒童は、人間、植物、動物等の周圍に接觸するにつれ、會話、唱歌、遊戲、圖畫、模型を作る事、建る事、及社會的協力に依つて、本能的に自己の身心を開發せんとするのである。

幼稚園は、材料及び實際の手段によつて、幼兒を奮勵せしめて、至高の満足を實現する様に指導するのである。而して、善の爲に働く生得の衝動心を愛育して、不良なる心性の萌芽を除去する事に務めるのである。

○教授ウ井リヤム、ジエー

ムス氏曰く

『吾人は、兒童に於てこそ、本能力の確乎たる順序に従つて成熟するを觀る。多くの本能力は、一定の年齢に成熟し、且つ又凋落する。然れども此時代に作くられたる習慣は、品性の一部となりて殘留するのであるを以て、時期を失はず、恰も鐵の熱したる間に之を打つが如く、手早く正確にせ

ねばならぬ』

と説いて居る。自發活動の主義を、幼稚園に適用する時は、單に幼兒が、常に何かして忙がしくして居るから、それで此の主義を徹底して居るとは斷じ難い。問題は印象及び發表により、最も進歩したる程度に、幼兒を指導する事が出來たか否やを知るのである。

もし、兒童をして、全く己の選擇するがまゝに任する時は、先見の明を缺くが故に、自己の欲する結果に、達する事の出來ない場合が屢々ある。

又、兒童に六づかし過ぎたる仕事をさせたり、或は之に反して、自己の全力を用ふるに及ばない出來易い仕事をさせる時は、いづれとも無趣味に陥り、終には冷淡なる心情を發生するやうになるさもなくとも、自然の自己奮發力によりて實現せらるゝ喜悅と満足とを失ふに至る。

又、目と手との訓練は、腦細胞を刺激する事と別離してはならぬ。何故かと云へば、目と手との

訓練をして、脳細胞を刺激する事をしなければ、全く機械的の結果を生ずるのみで、教育の主眼たる幼児の心を覺醒さす事を、實現するのが出来なからである。

○幼児をして覺悟せしむべき自由と幸福の道

兒童の社交的本能力は、發達しつつあるのであるから、之をよろしく示導せねばならぬ。又兒童には常に自己本位的に顧みると同時に、一方に於ては、人類に於ける自己の關係を知らせねばならぬ。

即ち自己の利益と他人の利益とは、互に關聯して分離する事の出来ぬと云ふ眞理をよく悟らしめねばならぬ。而して兒童には、他人の權利に干渉する事を差し止めねばならぬ。

教育の課程の進むにつれて、兒童は全く示導者の導くがまゝになるものである。それは兒童には、

少しも先見の明がない爲に、自己の行爲の遠き將來に達する道順を知らないからである。

併しながら幼稚園に於ては、兒童の行動及び種々の活動の選擇の自由は、本人及び他人の進歩の妨げとなるものゝ外は、成るべく禁止しない方がよい。それによつて活動主義の適用せられたる事となる。

兒童をして常に自己の務めを嚴格に遂行せしむるに付いては、少しの矛盾なきやうに仕向けなければならぬ。而して兒童をして、己に克つ事が眞正なる行爲の基礎である事を悟らしめねばならぬ。

克己は、即ち最高の自由及び幸福に達する唯一の道である。世の中の人間は、皆互々に深き關係を有するもので、互に相依り相助け合ふべきものであると云ふ思想を、兒童をしてしみく覺醒させねばならぬ。實に幼稚園は兒童をして、此等の關係を十分に含味さすやうに導かねばならぬ。